

評価結果概要表

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3893600043
法人名	株式会社 新風会
事業所名	グループホーム早雲
所在地	愛媛県喜多郡内子町大瀬中央5 6 6 2 番 2
自己評価作成日	平成27年8月24日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成27年10月30日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

内子町大瀬の、のどかな自然の中木造建築の建物がひととき引き立ちます。ご近所の皆様に暖かく見守って頂きながら地域に根差すグループホームを目指しています。日常生活において、調理や洗濯など、それぞれが得意とする事に対し役割を持っていただき、自然に本人の意欲を引き出しています。今年も、大瀬小学校4年生との交流を続けています。大瀬自治婦人部の方が来てくださり、また来年も来たいと言って下さり、地域との交流が深まりました。また、利用者様がその月にあった事を忘れないように壁新聞を利用者様と一緒に作成、来訪者の評判も良く壁新聞を楽しみにして頂いています。職員はスキルアップ希望者の研修に快く協力、職員の育成、レベルアップを目指しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

体操やレクリエーションを行う時には、利用者の希望を聞き、無理強いしないよう気を付けている。食材納品業者が2ヶ月に1度、移動スーパーを開いてくれており、利用者は、カゴを持って好きなものを選んで買う機会がある。欲しい商品の要望があれば次回用意してくれる等、利用者の楽しみとなっている。2年間に3名の利用者の看取りを支援した。職員は看取り支援を実践するにあたり、協力医療機関の医師や法人看護師の協力を得て、看取りの経過等について勉強した。ご家族も頻りに会いに来られて、一丸となって支援した。管理者の提案で「思いのノート」をつくり、ご家族の気持ちを書いてもらい、ご家族間で共有できるよう工夫した。職員も見せてもらって、ご家族の気持ちを大切にしたいと支援に努めた。

・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目：9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目：11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目：30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている (参考項目：28)		

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名 グループホーム早雲

(ユニット名) _____

記入者(管理者)

氏名

森本あけみ

評価完了日

H27年 8月 24日

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
理念に基づく運営				
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価) 地域理念を作り、地域との交流をはかるため、行事を計画実行、職員は理念を理解し実践につなげている。地域の行事(祭り)などに参加、小学校との交流などを通し地域の一員として過ごす事が出来ている。 フロア理念は「尊敬、信頼、傾聴」である。 (外部評価) 理念を「尊敬、信頼、傾聴」とつくり、居間に掲示して職員で共有している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価) 地域の情報を知るため回覧板を回してもらったり、地域行事の農業祭や秋祭りに参加をしている。また、ホームで計画した行事にご近所の方が参加して下さいます。大瀬自治会女性部との交流や大瀬小学校との交流も行っています。また、地域の要請により道作りやスポーツ大会に職員が参加しています。 (外部評価) 近所の子供達は幼稚園の折から事業所と交流があり、小・中学校になっても関係が続いている。利用者は、子供達の成長をみることも楽しみとなっている。隣の敷地には、内子町が取り組む農業体験のための住宅が3軒ほどあり、住人と農作物を交換したり、運営推進会議等に参加してもらっている。地域の運動会へは利用者も一緒に参加している。地域の道作りは職員が手伝いに行っている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価) 今年も認知症の講演会を地域のグループホームの方たちと行い、家族や地域の方も参加して頂きました。また、大瀬中学校の福祉体験や小田高校のインターンシップの受け入れもできた。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>定期的に運営推進会議を行い、職員やご家族、自治会長や区長ご近所の方に参加して頂き、行事や入所者の情報を伝え意見などをきいている。また、自己評価や外部評価を行う事を伝え改善策なども報告して意見を聞いている。今年は秋の夜長を楽しむ会を開催予定です。また、今年も家族様全員に秋の夜長を楽しむ会への参加を呼びかけました。</p> <p>(外部評価)</p> <p>会議には、自治会長や区長、近所の方、又、時間の都合が合えば学校の先生が参加しており、事業所から行事や利用者の様子を報告している。災害時の対応について話し合った際には、「災害時には利用者個々のことが分かるよう名札を掛ける」ことが決まった。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>運営推進会議に参加していただき、情報を共有している。事故報告書の提出やケアプランの提出をし、取組みを伝えています。また、町内のグループホーム管理者が会合を行っています。必要時は内子町の担当職員から情報を受けるときもある。介護相談員の受け入れにも応じた。</p> <p>(外部評価)</p> <p>年1回程度、介護相談員を受け入れている。社会福祉協議会職員がケアについての相談に乗ってくれることがある。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>体調管理のため、つなぎ服を利用したが、本人の様子を観察し、つなぎ服をやめる事が出来た。</p> <p>(外部評価)</p> <p>玄関は施錠していない。ひとりで出かけて行こうとする方については、様子を観察して、利用者が出かけていく目的等を踏まえて対応している。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 虐待について勉強会を予定しており、管理者、職員はそれぞれの行動に注意をし、気になる事があると声をかけあっている。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 利用している人があり、どのような方が制度を利用しているか理解している。	
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 入居希望時に見学していただき、ホームを理解してもらい、重要事項の説明をしている。入居契約時にも説明をし納得していただいているから契約をしている。	
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 家族の面会時個人ノートを作り家族間の意見交換にも役立った。また、毎月の新聞で職員から声かけをし生活の様子が分かるように伝えている。利用者様にも希望等ないか確認をしている。運営推進会議に家族の参加があり、話の出来る機会を作っている。5月に家族会でお茶会を行い、7月には夕涼み会を行い3家族の参加と地域の方の参加があり、職員と交流をし、気軽に話が出来ると関係を築いている。 (外部評価) ご家族用のノートを作っており、ご家族は、感想や利用者とのエピソード等を書いてくれている。ご家族の了解を得て職員もノートを見せてもらっており、利用者の思いやご家族の気持ちを知ることにつながっている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 管理者会議にて意見を出す事ができる。行事の企画は部長に確認してもらっており、職員の提案で行事を行うことができる。業務カンファレンスを行い、職員の意見を聞く機会を設けている。また、ケアカンファレンスでも気軽に意見を話し合える機会を設けている。	
			(外部評価) 毎月行う内部研修は、職員が順番で担当になり、それぞれがテーマも決めて準備し取り組んでいる。行事の折には、職員が企画書を作成して取り組んでおり、小学生と交流したり、地域の婦人会の方達に来てもらって踊りを見せてもらったこともある。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価) 向上心を持って働ける様、施設長やホーム長、副ホーム長の役職があり手当が付く。資格手当もあり、向上心を持って働けるよう整備している。介護職員処遇改善手当が付くようになった。	
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 実務者研修に参加した。また、今年度より勤務あつかいで、会社が必要とする研修に参加出来るようになった。定期的に勉強会を行ったり、毎月議題をきめ知識を深めている。	
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価) 管理者は社内において管理者会議があり、情報の交換、共有している。また、内子町のGH連絡会においても情報交換と共有を行っており、職員間も勉強会を行いサービス向上に結び付けている。隣の慶雲とは常に情報交換しており、合同の勉強会も行っている。	
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価) 利用者様と話す機会をつくり、不安や希望を聞き、職員と利用者様との信頼関係を築いてケアプラン作りにいかしている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価)	
			3人の方の入退所があり、家族との信頼関係を築きながら、家族様にも安心して生活していただける様取り組んでいる。	
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価)	
			本人と家族の希望を聞き対応しています。訪問診療と必要時受診介助をしています。	
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価)	
			利用者様一人ひとりが能力に合った役割を持って生活をしているが認知が進み役割が出来なくなってきた人もおられる。また、お互いに協力したり、利用者様同士で声をかけ合い良い関係が出来る様に、仲に入り支え合う関係が出来つつある。	
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価)	
			定期的に家族が訪問し、自室にてお話してくつろいで頂いたり、行事に家族と共に参加し、一緒に過ごして頂いています。家族の方と一緒に外出される方もおられます。また、家族様の協力により外泊支援を続けたい。面会時には、本人の好物を持参してもらっています。	
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価)	
			家族の協力を得て、本人の行きたい所へ連れて行って頂いたり、自宅への外出等ができています。お孫さんやひ孫さんの面会もあります。	
			(外部評価)	
			ご自宅近くのスーパーに買い物に出かけると、近所に住む知人と顔を合わせることもあり、声をかけてくれたりする。毎年地域の運動会に参加することで顔見知りになった人がいる。又、なじみの人達と会える機会になっている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) フロアでテーブルを囲むように座り過ごして頂いています。気の合った利用者様同士が座ったり、お互いの意見を尊重し理解しあえるよう声かけをしながら支え合うように支援を行っている。また、お互いが体を気遣って声を掛け合ったり、体を擦ってあげてたり、声かけをし手をつなぎあったりされています。	
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 退去者には他施設に入所される時に退所時の情報提供を行った。また、千羽鶴を作りお見舞いに行った。	
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 本人の希望を聞き、困難な場合には本人の言動や行動から理解出来る事もある。本人の思いシートを作成し活用出来ている。また、家族様からの情報をえることもでき、介護計画に取り入れることが出来た。重度化及び緊急時の対応の希望を取っている。また、定期的に希望の取り直しも行っている。新規入居者に対してこれから思いシートを活用していく。	
			(外部評価) 理念のひとつである「傾聴」の実践に向けて、職員は利用者とお話する時間を積極的に作り、会話の中から利用者の思いを汲み取ることに取り組んでいる。介護記録には利用者の言葉を記録することに努めている。看取り支援を経験したことで、利用者の情報を知っておくことの大切さを感じており、今後はさらに、早い段階からの収集に力を入れて取り組みたいと話していた。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 今までの暮らしを家族や本人から聞き情報を得るようにしている。他のサービスを利用していた場合は、そこから情報を提供して頂いている。	
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 一人ひとりの1日の行動や言動をよく観察し、情報を共有したり見守りをしたりしている。ケアカンファレンスで昼夜逆転についても話し合っている。対応困難になっている利用者様の様子と対応方法についてよく話し合っている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>毎日の介護記録でその日のケアプラン実行記録を残している。利用者個々の担当職員が2ヶ月間モニタリングを行い、3ヶ月ごとに職員全員で見直しを行っている。家族様の訪問時や電話にて介護計画を説明して、要望や意見をお聞きしている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>利用者個々に担当職員が配置されており、介護計画も作成する仕組みを作っている。日々の介護記録には、個々に介護計画の支援内容を記入して、支援できたか日々記録している。モニタリングは毎月担当者が行っている。3ヶ月毎に職員でカンファレンスを行い見直している。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>個別の介護記録や経過観察記録等毎日の行動を記録し、申し送りやケアカンファレンス等により情報を共有し、どのようにしたら良いケアが行えるかを考え実践し介護計画の見直しに活かしています。</p>	
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>神南診療所との医療連携体制があり、医療連携ナースとも連携しており、神南診療所の訪問看護の利用もあるが、サービスの多機能化は特にありません。</p>	
29		<p>○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>無断退出時に、ご近所さんが見つけて保護し対応して下さった。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>(自己評価) 現在は家族の希望により、神南診療所を全員主治医とされています。眼科は本人のかかりつけ医を継続しており受診支援をしています。また、歯科は協力医に往診を依頼しています。療養マッサージを利用されている方もおられます。家族の協力により受診している人もいます。</p> <p>(外部評価) 利用者それぞれ希望する専門科を受診できるよう支援している。</p>	
31		<p>○看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>(自己評価) 定期的に医療連携ナースの訪問があり、職員がその都度利用者の様子を報告して指示を受けている。また、電話連絡により相談し、指示を受けている。継続的に医療を必要としておられる方は訪問看護師から指示を受けたり、様子を報告している。</p>	
32		<p>○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>(自己評価) サマリーなどで情報交換し、入院中や退院時の情報をとっています。</p>	
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) ホームでの看取りを家族様が希望、訪問看護を利用し、家族様の思いも理解しながら支援ができた。また、面会時お渡ししていたノートが、家族間で役立っていた。</p> <p>(外部評価) 2年間に3名の利用者の看取りを支援した。職員は看取り支援を実践するにあたり、協力医療機関の医師や法人看護師の協力を得て、看取りの経過等について勉強した。ご家族も頻回に会いに来られて、一丸となって支援した。管理者の提案で「思いのノート」をつくり、ご家族の気持ちを書いてもらい、ご家族間で共有できるよう工夫した。職員も見せてもらい、ご家族の気持ちを大切に支援に努めた。</p>	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 体調急変者が出た場合や転倒時にはバイタルチェックを行ない冷静に対応出来ている。心肺蘇生もし、救急搬送も行った。 今年度も救命講習を行う予定。	
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に昼夜を問わず利用者がひなんでできる方法を全職員が身につけるとともに、地域の協力体制を築いてる	(自己評価) 定期的に近隣住民と共に訓練を行っており、参加者全員で反省会を行い、災害対策に対し協力をしていただける関係を築いている。また、地震からの火災を想定しての避難訓練、消火訓練を入所者様と共に行った。夜間想定訓練も行った。	
			(外部評価) 避難訓練は併設の系列事業所と合同で行っており、実施後には会議を持ち課題について話し合っている。「誘導の声が小さい」「火元の場所の説明が分かりにくい」という意見があった。又、避難場所が遠かったこともあり、話し合っ変更となった。緊急の通報装置には、消防署・近所の方・職員が登録されており、緊急時には自動通報されるようになっている。	
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 一人ひとりのプライバシーを尊重し、プライドを傷つけないように言葉使いにも気を付け対応している。居室にて一人で過ごす事が出来て一人の時間が作れプライバシーを守っている。	
			(外部評価) 体操やレクリエーションを行う時には、利用者の希望を聞き、無理強いしないよう気を付けている。食材納品業者が2ヶ月に1度、移動スーパーを開いてくれており、利用者は、カゴを持って好きなものを選んで買う機会がある。欲しい商品の要望があれば次回用意してくれる等、利用者の楽しみとなっている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 日常生活の中で、本人の思いや希望を職員に気軽に話して頂ける様声かけし接していくよう努め、本人の希望等にそえるようつとめています。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 一人ひとりの一日のペースを把握し、できる事やしてみたい事に声かけし支援をしている。利用者様からあまり希望がなくなったが希望があることは支援出来るようにしている。	
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) 本人が着たい服を自由に選び着て頂いている。出張美容を利用しカット、毛染め、顔そりをしていただき、化粧を希望される方には支援している。衣類の調整は本人の希望にそって行っている。おっしやれが自分で出来なくなった方たちの支援を行なっている。男性の髭剃りも声掛けて行なってもらったり、介助にて髭を剃っている。日課の化粧を楽しみにしている方もいる。	
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 一人ひとりの好きな食べ物、嫌いな食べ物を知り、色どりなど盛り付けにも工夫を凝らし食欲が出る様努めている。もやしの根とりや豆のすじ取り、食器拭きにも声かけをし利用者の皆さんが協力して手伝って頂いている。ホームで取れたゴーヤやミニトマトを利用して調理する事もある。干柿作りやナスビ、キュウリの収穫を楽しまれた方もいました。 (外部評価) 食材は注文して配達してもらったり、畑で収穫した野菜等を使用して、季節のものや馴染みの食材を採り入れて、彩りよく作ることを心がけている。職員は、利用者と一緒に同じものを食べながら介助しており、耳元で「お汁ですよ」等と言葉をかけて、ご本人が何を食べているか分かるようにサポートしていた。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 食べる量を理解しおかゆ、刻み食、トロミ食などそれぞれの利用者様にあった盛り付けを行い、摂取量の記録や好みの飲み物を理解し必要量が取れるように支援しています。また、病気にあった味付けを行っている。看取り時は、ミキサー食から流動食など本人の意にそえるように食事の介助をした。	
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 食事後声掛けし口腔内の清潔保持に努めています。また、1人で出来ない方に対しては職員が声掛けや誘導等の介助を行い、一人ひとりに合った口腔ケアを行っています。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	<p>(自己評価)</p> <p>一人ひとりの排泄パターンや行動を知り、それぞれの方に合った排泄支援を行っています。夜間の睡眠確保のためオムツやパット、リハビリパンツなどと種類を変えている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>日中は全員がトイレで排泄できるよう支援しており、トイレに座ることを嫌がる方についても、タイミング等を見ながら支援している。トイレの背もたれには薄いクッションを付けて、楽な姿勢が取れるように配慮していた。</p>	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	<p>(自己評価)</p> <p>毎日、排便の回数を記録し便秘がみられる利用者には水分を多めに摂って頂いたり、運動の声かけを行っています。強い便秘のみられる利用者には主治医と相談し、薬を処方して頂き対応しています。食事にも工夫し繊維質のものを摂って頂ける様にしています。</p>	
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	<p>(自己評価)</p> <p>毎日入浴できるようにしているが、行事等がある場合は2日～3日で入浴できるように支援しています。また、希望を聞き、午前と午後に入浴出来る。本人の希望にて入浴の時間制限はしていません、気のすむまで体を洗う方もいます。夏場はシャワー浴にされる方もあります。</p> <p>(外部評価)</p> <p>入浴を断る利用者があり、お話をうかがっているうちに「服を盗まれる」等の理由が分かり、職員は利用者の方の洋服等をちゃんと管理することを伝え、ご本人が安心して入浴できるようになったという事例がある。現在ではご自分から入浴されるようだ。</p>	<p>重度の利用者の支援についても、個々のこれまでの入浴の習慣や好み等も採り入れながら、利用者主体の支援に工夫して取り組んでほしい。</p>
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	<p>(自己評価)</p> <p>日中でもお部屋で休んでもらうようにしています。夜間は、一人ひとりのリズムで休んでいただき不眠時には話をしたり飲み物を進めるなど安心してもらえるよう対応しています。眠剤を利用される方もいます。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 一人ひとりの服薬への支援をしている。使用している薬が何の病気の薬か理解している。服薬表の整備を行い、副作用などの理解をするよう努力している。	
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 一人ひとりが出来る事を把握し、それに合った支援をし役割を担ってもらっている。しかし、出来なくなった事が多くなり、役割りを持たない人もいる。	
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 一人ひとりのその日の体調に合わせてホームの周囲を散歩したり日光浴ができるように支援しています。また、家族の支援で外出している人もいます。内子のフジに買い物に行きます。地域行事(運動会・保育所訪問)等にも出かけて地域の方々と触れ合っている。11月に小田のせせらぎ亭にうどんを食べに行った。つつじ見学やひまわり見学、笹祭り見学など、定期的に外出行事も行っている。	
			(外部評価) 外出する機会を多く作っており、日常的には周辺の散歩を日課にしている。スーパーへ買い物に出かけたり、運動会や季節の花々を見に行ったり、外食等を楽しんでいる。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 家族の理解の上で少額のお金を自分で管理している人もいる。買い物外出時には、自分で支払いができるように援助している。	
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 電話の取次ぎ、本人の希望があれば対応している。定期的に家族から電話がある人もいる。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>(自己評価) 共用空間において自由に行動して頂いており、冷暖房を必要に応じて使用し快適にホーム内で過ごして頂いています。季節ごとの花を飾ったり、利用者の方と一緒に季節感のあるちぎり絵を作成してフロア内に展示しています。裏庭の畑にゴーヤや花を植えています。デッキに出て見ることが出来ました。夏野菜の収穫を一緒にしました。</p> <p>(外部評価) 昔話の場面を描いたちぎり絵の大作を廊下、ホール等に飾っている。居間には手作りの日めくりカレンダーをかけ、干支のちぎり絵を飾っている。毎月、利用者と行事新聞を作り、掲示しており、ご家族来訪時に見てもらっている。居間からは、隣接する系列事業所の様子や木々、道を通る人の様子が見える。調査訪問時、テラスや玄関に出て過ごす方や畑の様子を見にいく方等も見られた。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>(自己評価) 畳で過ごして頂いたり、共用空間に居ながら少しはなれる事ができるように対応しています。</p>	
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>(自己評価) 本人が馴染みのある物を持ち込んでいただけるようにしている。住み慣れた部屋のようにして居心地のいい居室になるように、見慣れた物をかざり生活感があるように工夫しています。</p> <p>(外部評価) クローゼット・ベッド・洗面台・エアコンは備え付けのものが有り、他は持ち込み可能となっており、ラジカセや手押し車・写真・家族との思い出の品がある居室があった。自宅にいた時のようにカレンダーを掛けて○印を付けている方もあった。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>(自己評価) トイレがわかる様に表示したり、一人でも移動、行動できるように工夫している。建物内はバリアフリーになっている。車いすを使い1人で行動出来ている。高度の認知の方が住み慣れた事で自分の席が分かっており、1人で自分の席に座ることがある。自由にデッキや裏庭で過ごされる方もいます。</p>	